

第2回学校構想推進協議会WG会議のまとめ

資料2

◆全校児童人数の推移（R7.5.1時点） ※R13年度は推測値

学びの輪「North」		
	R7年度	R13年度
足近小	165	86
小熊小	124	103
正木小	694	491
合 計	983	680

学びの輪「Central」		
	R7年度	R13年度
竹鼻小	620	501
福寿小	516	533
中央小	765	604
合 計	1901	1638

学びの輪「South」		
	R7年度	R13年度
堀津小	133	125
中島小	165	113
桑原学園(前)	84	47
合 計	382	285

1 羽島市の学校教育で育てたいこどもの姿

○…3地区共通（表現は異なる）★…地区特有

【学びの輪「North」】 ○社会での自立を考える上で、主体性のある子を育てたい。 ○答えが一つでない時代だからこそ、様々な意見を取り入れながら、協働しながら課題解決をしていく子を育てていく必要がある。 ★様々な困難に立ち向かうたくましく生きる子	【学びの輪「Central」】 ○今後は答えのない社会に対して自ら答えを導き出していく必要がある。だからこそ、自ら考えて主体的に行動できる子を育てたい。 ○他者と協働しながら生きる子 ★与えられたことをやる子から、自らやることを求めていく（乗り越えていく）子へ	【学びの輪「South」】 ○主体性がある子 ○世の中も多様化する中で、多様な人と関わることができる子（コミュニケーション能力がある）を育てたい。 ★郷土を愛する心をもてる子
--	---	--

2 学校教育でどのような力を付ける必要があるのか。

【学びの輪「North」】 主体性 自己選択・自己決定力、自ら考え行動する力、学び続ける力、見通しをもつ力、問題解決する力 協働・共生 コミュニケーション能力、感情をコントロールする力、地域への愛着 その他 粘り強く取り組む力、何事にも挑戦する力、（失敗した時など）回復力、情報活用能力、基礎学力	【学びの輪「Central」】 主体性 課題を自ら見出す力、問題解決能力、自己選択する力、見通しをもって行動する力 協働 コミュニケーション能力、感情をコントロールする力 その他 粘り強くやり抜く力、困難に立ち向かう力、プレゼンテーション能力	【学びの輪「South」】 主体性 自分で考える力、自律的に学ぶ力、自己調整する力、問題発見・問題解決する力、新しい発想を生み出す力 多様な人との関わり 相手のことを考えて行動する力、他者を思いやる力、他者と協力する力、折り合いをつける力、広い視野をもつ その他 最後までやり抜く力、貢献力、情報活用能力
--	---	--

3 そのための教育課程（カリキュラム）はどうあるべきなのか

○…3地区共通（表現は異なる）★…地区特有

【学びの輪「North」】 <u>主体性を育むために</u> ○授業の中で子ども自身で自己選択、自己決定、自己評価する場を位置付ける。 ○総合の学習の授業などを見直し、課題解決学習を行う。 ★<u>子どもが学び方を変える</u>（個別最適な学び・脱一斉授業）。 <u>協働性・共生を生み出すために</u> ○多様な価値観に触れるため、異学年交流や学校間交流を行う。 ○小規模校にも多様な人と交流できるようオンライン交流や合同授業を実施する。 ★<u>地域とも協働しながら子どもを育てたい。地域の人と交流する機会を充実させる。</u>	【学びの輪「Central」】 <u>主体性を育むために</u> ○自己選択の場を生み出す。 ○こどもの「学びたい」を大切に、探究学習を充実させる。 ★<u>子どもに委ねる場面を作る。</u> ★<u>授業の出口を明確に示す。</u>そうすることで、子どもが自己調整しながら学習を進めることができる。 <u>協働性を生み出すために</u> ○多様な価値観に触れるため、異学年交流や学校間交流を行う。 ・オンラインを活用し、多くの人と交流できるようにする。 ★<u>地域企業や外部講師を活用し、体験的活動を位置付ける。</u> ★<u>学校運営協議会などに児童生徒も参加し、学校の取組を地域にも知ってもらう。</u>	【学びの輪「South」】 <u>主体性を育むために</u> ○学び方を選択する場を設定したり、自己決定する場位置付けたりする。 ○探究学習（課題解決学習）を行う。 ★<u>体験的な活動を行う（成功や失敗体験ができる教育）。</u> <u>協働性を生み出すために</u> ○多様な価値観に触れるため、異学年交流や学校間交流を行う。 ○子ども同士で考え議論する活動の場を位置づける。 ★<u>義務教育学校のように、縦のつながり（小中連携）を強化する。</u> ★<u>地域とのつながり（ふるさと教育の充実）</u> ★<u>合同の行事（修学旅行）を企画する。</u>
---	--	---

キーワード…『主体性』『協働』

4 学校制度や学校配置に関する意見 ～上記1～3を具現するため～

- ・児童数が減少する学校が多いので、学校規模の適正化を図る必要が出てくるのではないかな。
- ・今後の児童数の推移から、学区の見直し（再編成）も必要になってくるのではないかな。
- ・学園構想として、小学校には1～4年生、中学校に5年生から通うようにする。
- ・6年生が中学校で学ぶ。教科担任制で中学校の先生が児童を教える。
- ・バス等を利用して指定学校以外の学校へ通えるようにする（学校選択制）。
- ・現状の学校規模のまま、建物の縮小化を図り、よりコンパクトな学校にする。
- ・市内で学校規模が平均化されるとよい。
- ・地域や保護者の意見も聞いた上で今後の具体的な方法を考えていくことが大切。